

事業	民生児童委員活動費				担当部署	部名	福祉保健部		
022	-----				課名	社会福祉課			
						電話	0766-82-1951		
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 2 章 やさしさに包まれたまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 1 節 地域で支え合う福祉の推進						目	社会福祉総務費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		民生委員法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	4	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	射水市民生委員・児童委員及び主任児童委員209名 射水市							
	意図 (どのような状態に)	相談、訪問、支援、調査、地区福祉事業等の民生委員活動に要する交通費等に充てる経費							
事業内容	手段 (どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員推薦会の開催 相談、訪問、支援、調査、地区福祉事業等の民生委員活動 							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 22 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	民生委員推薦会の開催	回	0	1	2	200.0	2	2	
	相談、訪問、支援、調査、地区福祉事業等の民生委員活動	件	27575	28469	28469	100.0	30000	30000	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	民生委員推薦会委員	人	14	14	14	100.0	14
	民生委員・児童委員及び主任児童委員	人	209	209	209	100.0	211

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費	12,330 千円	12,330 千円	0.0	12,330 千円
財源内訳	人件費	2,622 千円	2,924 千円	11.5	4,012 千円	
	退職手当引当金相当額	380 千円	430 千円	13.2	590 千円	
	事業コスト計	15,332 千円	15,684 千円	2.3	16,932 千円	
	国県支出金	12,330 千円	12,330 千円	0.0	12,330 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	3,002 千円	3,354 千円	11.7	4,602 千円	
当該事務従事職員数		5.00 人	5.00 人	0.0	5.00 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	地域福祉の中心となる民生委員・児童委員の役割は非常に大きく、行政への協力も多大である。
有効性	3	地域住民の信頼も厚く、専門的知識もある。
達成度	3	民生委員推薦会の開催。民生委員・児童委員の地域福祉活動への積極的な関わり。
効率性	4	民生委員推薦会の審議事項で、軽易なものは文書審議により決定している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	民生委員活動に要する交通費等に充てる

事業	補助金の名称	民生委員協議会活動補助金				担当部署	部名	福祉保健部	
023							課名	社会福祉課	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 2 章 やさしさに包まれたまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 1 節 地域で支え合う福祉の推進						目	社会福祉総務費
補助期間	平成 17 年度 ~ 平成 17 年度								
根拠法令・要綱等	民生委員法								

事業目的	対象(交付先)	射水市民生委員児童委員協議会						
	意図(補助目的)	民生委員・児童委員の資質の向上と地域福祉の充実を図る						
事業内容	手段(主な活動)	<ul style="list-style-type: none"> 行政機関への協力、社会福祉事業や活動への支援、住民福祉の増進を図るための活動。 資質の向上のため、研修や事例検討会の開催。 						
類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助				
	格差是正補助	利子補給	その他()					

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	行政機関への協力、社会福祉事業や活動への支援、住民福祉の増進を図るための活動。	回	13	11	11	100.0
	資質の向上のため、研修や事例検討会の開催。	回	13	26	26	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	1,395 千円	(金額)	1,395 千円	(金額)	1,291 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	(4,000円(県)+500円(市)) × 209人 = 940,500円 25,000円 × 14地区民児協 = 350,000円				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	民生委員・児童委員及び主任児童委員の資質向上により、地域福祉の充実を図る。
有効性	4	高齢者や要支援者など地域福祉の増進につながる。
効率性	4	地域福祉活動の中心となり、住民福祉の増進に向けた。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	民生委員・児童委員の資質の向上と地域福祉の充実を図る

事業 024	事務事業名	社会福祉策団体等対策事務費				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	社会福祉課	
							電話	0766-82-1951	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 2 章 やさしさに包まれたまちづくり						項	社会福祉課
	施策名(節)	第 1 節 地域で支え合う福祉の推進						目	社会福祉総務費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		射水市災害時要援護者制度							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	4	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	全市民							
	意図 (どのような状態に)	住民相互の支えあいにより、誰もが安心して住み慣れた地域で生活できるような地域づくりを目指す							
事業内容	手段 (どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者支援制度への登録 ・地域福祉事業全般 							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 22 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	災害時要援護者支援者登録者数	人	6772	6760	6760	100.0	6760	6800	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	災害時要援護者支援制度の周知	地区	5	5	5	100.0	5

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	645 千円	516 千円	20.0	836 千円
財源内訳	人件費	966 千円	952 千円	1.4	952 千円	
	退職手当引当金相当額	140 千円	140 千円	0.0	140 千円	
	事業コスト計	1,751 千円	1,608 千円	8.2	1,928 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,751 千円	1,608 千円	8.2	1,928 千円	
当該事務従事職員数		5.00 人	5.00 人	0.0	5.00 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	住民相互の支えあいにより、誰もが安心して住み慣れた地域で生活できるような地域づくりは、今後ますます必要となる。
有効性	3	地域住民の参画と協働による地域福祉・在宅福祉の推進や向上に期待できる。
達成度	4	災害時要援護者支援支援制度の周知は低いと思われる。
効率性	3	他の社会福祉機関の活用で効き目細かな福祉サービスの提供が可能となる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	住民相互の支えあいにより、誰もが安心して住み慣れた地域で生活できるような地域づくりを目指す

事業 025	補助金 の名称	富山養得園賛助会助成金				担当 部署	部名	福祉保健部	
							課名	社会福祉課	
						電話	82-1951		
総合 計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第2章 やさしさに包まれたまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第1節 地域で支え合う福祉の推進						目	社会福祉総務費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 - 年度							
根拠法令・要綱等		無							

事業 目的	対象 (交付先)	富山養得園						
	意図 (補助目的)	更生保護事業運営に係る財政的な支援						
事業 内容	手段 (主な活動)	更生保護施設として、刑の執行猶予や起訴猶予の処分を受けた者の中で身元引き受けがなく保護を必要とする者が、円滑に社会復帰できるよう保護に積極的に取り組み、再犯防止に努めている。						
		類 型 区 分		団体運営費補助 格差是正補助	事業費補助 利子補給	施設等整備費補助 その他()	政策的補助	

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	施設収容保護者延べ人員	人	4653	5000	5618	112.4

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	30千円	(金額)	30千円	(金額)	30千円	
	(件数)	1件	(件数)	1件	(件数)	1件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	富山養得園から依頼された金額				30千円	
	定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	富山養得園が行っている更生保護事業は、公益性があり妥当である。
有効性	4	更生保護という観点から市民の福祉向上には貢献しているが、市更生保護女性会が年間を通して富山養得園で給食活動等を行っており、事業の成果を達成するため補助を行うことが必ずしも適切な手段とはいえない。
効率性	2	対象経費の詳細がはっきりしておらず、助成金額も少額のため、効率的とはいえない。また、更生保護団体(射水保護司会、更生保護女性会)からも同様の助成金が出ている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
B	平成23年度以降については、助成金のあり方を再検討する。

事業 026	補助金 の名称	射水保護司会補助金				担当 部署	部名	福祉保健部	
							課名	社会福祉課	
							電話	82-1951	
総合 計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算 科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第2章 やさしさに包まれたまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第1節 地域で支え合う福祉の推進						目	社会福祉総務費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 - 年度							
根拠法令・要綱等		無							

事業 目的	対象 (交付先)	射水保護司会						
	意図 (補助目的)	犯罪者の改善と更正を助け、また、犯罪の予防を図るための啓発と宣伝活動を行う。						
事業 内容	手段 (主な活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・“社会を明るくする運動”関係事業の推進(街頭宣伝活動、中学生生活体験発表大会、作品(作文・標語・ポスター)コンテストなど) ・更生保護一般相談 ・関係団体の会議・研修・犯罪予防キャンペーンへの参加 						
		類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
				作品コンテスト応募総数(市内小中学校)	作品	1894
更生保護一般相談所開設回数	回	2	2	2	100.0	

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	1,400 千円	(金額)	1,200 千円	(金額)	1,080 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	保護司会からの要望書と保護司会の活動実績内容を考慮して、補助金額を決定。				1,080 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	保護司会が行っている活動は公益性があり、他者が代わりに行えるものではないため、事業費の補助としての交付については妥当であると考えられる。
有効性	4	保護司会が行っている更生保護活動は市総合計画にも位置づけられており、市民の福祉向上に貢献して貢献しているため、活動補助については有効であると考えられる。
効率性	3	対象経費について一部見直すことにより支出を抑えることができると考えられる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	補助金の交付については妥当であると考えられるが、対象経費を見直すことで支出を抑える努力をしてもらうよう要請し、団体の自主性を保つために補助金の額を抑えていけるよう検討する。

事業 027	補助金 の名称	富山型デイサービス施設支援補助金				担当 部署	部名	福祉保健部	
							課名	社会福祉課	
						電話	82 - 1951		
総合 計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第2章 やさしさに包まれたまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第1節 地域で支え合う福祉の推進						目	社会福祉総務費
補助期間		平成 - 年度 ~ 平成 - 年度							
根拠法令・要綱等		射水市富山型デイサービス施設支援事業補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	特定非営利活動促進法の定める特定非営利活動法人及び市長が適当と認める法人(つくしの家いみず、ふらっと、ケアサークルひばり)						
	意図 (補助目的)	地域総合福祉の推進						
事業 内容	手段 (主な活動)	高齢者、障害者(児)及び児童のすべてを対象としたデイサービス、ショートステイ等の日中及び夜間の介護、訓練及びレクリエーション並びに保護・預かりを行なう施設の整備・充実に推進する						
類 型 区 分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	射水市富山型デイサービス施設支援事業補助実績	施設	0	5	5	100.0
					-	

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	0千円	(金額)	0千円	(金額)	3,918千円	
	(件数)	0件	(件数)	0件	(件数)	5件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	富山型デイサービス施設整備事業				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	施設の改修等補助事業の公益性がある。
有効性	4	地域との交流が多く、身近なところでサービスが受けれる。
効率性	4	障害の有無に関わらず、誰もが一緒にサービスを受けられる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	家庭的雰囲気の中で、赤ちゃんからお年寄りまで身近な地域でデイサービスを受けられる体制づくりを支援します。

事業	補助金の名称	社会福祉協議会 派遣職員人件費補助金				担当部署	部名	福祉保健部
028							課名	社会福祉課
							電話	82 - 1951
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち		予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第2章 やさしさに包まれたまちづくり					項	社会福祉費
	施策名(節)	第1節 地域で支え合う福祉の推進					目	社会福祉総務費
補助期間		平成 年度		~		平成 年度		
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象(交付先)	射水市社会福祉協議会						
	意図(補助目的)	社会福祉事業を円滑に運営実施するための人件費補助						
事業内容	手段(主な活動)	社会福祉協議会の事業運営に対し人的支援及び財政的支援を行なう						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	派遣職員数	人	3	2	2	100.0
	OB派遣数	人	6	4	4	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	45,700 千円	(金額)	40,461 千円	(金額)	37,446 千円	
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	市職員の派遣と市職員OBの派遣				37,446 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	安定した社会福祉活動を、展開するには継続的に発展させる役割をになっています。
有効性	4	福祉のまちづくりを推進するため、行政と社協が連携し、住民参画と協働による地域福祉・在宅福祉の向上につながる。
効率性	3	派遣職員の内容により是正する必要がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	組織体制の見直しと財政管理体制の確立により改善を図る。

事業 029	補助金の名称	社会福祉協議会 事務局運営補助金				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	社会福祉課	
						電話	82 - 1951		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第2章 やさしさに包まれたまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第1節 地域で支え合う福祉の推進						目	社会福祉総務費
補助期間		平成 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等									

事業目的	対象(交付先)	射水市社会福祉協議会						
	意図(補助目的)	社会福祉事業法に基づく事業を行なうための運営費及び事業費						
事業内容	手段(主な活動)	社会福祉協議会の事業運営に対し支援を行なう						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	支所統廃合	箇所	5	2	2	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	4,301 千円	(金額)	3,614 千円	(金額)	6,520 千円	
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	事務運営補助				6,520 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	安定した社会福祉活動を、展開するには継続的に発展させる役割をになっています。
有効性	4	地域住民、地区社会福祉協議会、福祉関係団体等の協力の得ながら、地域福祉活動を支えます。
効率性	3	派遣職員の内容により是正する必要がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	事務事業経費の改善を図る。

事業 030	補助金 の名称	社会福祉協議会 福祉活動専門員設置補助金				担当 部署	部名	福祉保健部
							課名	社会福祉課
						電話	82 - 1951	
総合 計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち		予算 科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第2章 やさしさに包まれたまちづくり					項	社会福祉費
	施策名(節)	第1節 地域で支え合う福祉の推進					目	社会福祉総務費
補助期間		平成 年度 ~ 平成 年度						
根拠法令・要綱等								

事業 目的	対象 (交付先)	射水市社会福祉協議会					
	意図 (補助目的)	地域福祉向上のため、地域福祉活動の指導、育成を行なう。					
事業 内容	手段 (主な活動)	地域福祉活動推進、福祉サービス利用、在宅福祉サービスや福祉人材発掘養成の事業を推進する専門職員の人件費					
		類型区分		団体運営費補助 格差是正補助	事業費補助 利子補給	施設等整備費補助 その他()	政策的補助

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	職員人件費	人	5	5	5	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	18,931 千円	(金額)	14,748 千円	(金額)	12,639 千円	
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	社会福祉協議会の職員人件費5名				12,639 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	安定した社会福祉活動を、展開するには継続的に発展させる役割をになっています。
有効性	4	地域住民、地区社会福祉協議会、福祉関係団体等の協力の得ながら、地域福祉活動を支えます。
効率性	3	人件費補助については是正する必要がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	上限額を設定し補助する。

事業 031	補助金 の名称	社会福祉協議会 地域総合福祉活動事業補助金				担当 部署	部名	福祉保健部	
							課名	社会福祉課	
						電話	82 - 1951		
総合 計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算 科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第2章 やさしさに包まれたまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第1節 地域で支え合う福祉の推進						目	社会福祉総務費
補助期間		平成 年度		~	平成 年度		年度		
根拠法令・要綱等									

事業 目的	対象 (交付先)	射水市社会福祉協議会						
	意図 (補助目的)	乳幼児からお年よりまでの要支援者を対象に、誰もが地域で孤立することなく安心して生活できるまちづくりを推進する。						
事業 内容	手段 (主な活動)	27地区社会協議会が中心となり要支援者の個別支援と地域におけるケアシステム体制の整備(ケアネット21)への助成とケアネットセンターの市社協職員の人件費						
		類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	地区社会福祉協議会ケアネット21実施	地区	2	15	13	86.7

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	4,375 千円	(金額)	7,340 千円	(金額)	8,400 千円	
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	地区社会福祉協議会を中心に、住民による個別支援サービスや住民参加による福祉コミュニティづくりを推進する。				8,400 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	安定した社会福祉活動を、展開するには継続的に発展させる役割をになっています。
有効性	4	地域住民、地区社会福祉協議会、福祉関係団体等の協力の得ながら、地域福祉活動を支えます。
効率性	3	県の補助率を見直す必要がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	県の補助率の見直しを要望する。 (県2/12 市7/12 市社協3/12)

事業 032	補助金の名称 社会福祉協議会 総合相談事業補助金	担当部署 福祉保健部 社会福祉課 82-1951
総合計画 施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち	予算科目 会計 一般会計
政策名(章)	第2章 やさしさに包まれたまちづくり	
施策名(節)	第1節 地域で支え合う福祉の推進	
補助期間	平成 年度 ~ 平成 年度	款 民生費 項 社会福祉費 目 社会福祉総務費
根拠法令・要綱等		

事業目的 対象(交付先)	射水市社会福祉協議会			
意図(補助目的)	住民の心配ごとの相談に応じ、福祉の向上に努める。			
事業内容 手段(主な活動)	本所、2支所での相談事業を行なう。			
類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助
	格差是正補助	利子補給	その他()	

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	相談件数	件	682	468	468	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	1,752 千円	(金額)	1,744 千円	(金額)	1,909 千円
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	地域に密着する相談体制の確立			1,909 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	安定した社会福祉活動を、展開するには継続的に発展させる役割をになっています。
有効性	4	地域福祉サービスの増進につながる。
効率性	2	開催場所の集約、相談カード作成費等事務経費の削減する必要がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
B	相談員研修会を市内1箇所で集約し会議等の経費削減を図る。

事業 033	補助金 の名称	社会福祉協議会 ボランティアセンター運営事業補助金				担当 部署	部名 課名 電話	福祉保健部 社会福祉課 82-1951
総合 計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち		予 算 科 目	会 計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第2章 やさしさに包まれたまちづくり					項	社会福祉費
	施策名(節)	第1節 地域で支え合う福祉の推進					目	社会福祉総務費
補助期間		平成 年度 ~ 平成 年度						
根拠法令・要綱等								

事業 目的	対象 (交付先)	射水市社会福祉協議会			
	意図 (補助目的)	ボランティア活動の推進			
事業 内容	手段 (主な活動)	ボランティアグループの育成、ボランティアの啓発等学童・生徒のボランティア活動の定着を図る。			
類 型 区 分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
	格差是正補助	利子補給	その他()		

成果 指標	指 標 名	単 位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	ボランティア登録者数	人	1373	1357	1357	100.0
	ボランティア団体数	団体	77	100	72	72.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	3,231 千円	(金額)	2,988 千円	(金額)	2,349 千円
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	地域に密着するボランティア活動の推進			2,349 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説 明
妥当性	3	ボランティアセンターと連携をして、ボランティア活動の普及啓発を図る。
有効性	4	ボランティア活動の推進基盤となる。
効率性	3	ボランティア活動の安定した活動基盤となる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	市ボランティア活動運営費補助の見直しを図る。

事業 034	補助金 の名称	社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター設置事業補助金				担当 部署	部名 課名 電話	福祉保健部 社会福祉課 82-1951
総合 計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち		予 算 科 目	会 計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第2章 やさしさに包まれたまちづくり					項	社会福祉費
	施策名(節)	第1節 地域で支え合う福祉の推進					目	社会福祉総務費
補助期間		平成 年度 ~ 平成 年度						
根拠法令・要綱等								

事業 目的	対象 (交付先)	射水市社会福祉協議会			
	意図 (補助目的)	ボランティア活動の推進			
事業 内容	手段 (主な活動)	ボランティア活動に関して、相談・助言並びに情報提供、関係機関との連絡調整等を図る、コーディネーターの人件費。			
類 型 区 分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
	格差是正補助	利子補給	その他()		

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	ボランティアコーディネーター数	人	5	3	3	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	14,030 千円	(金額)	10,322 千円	(金額)	4,437 千円
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	本所、支所において、ボランティアコーディネーターを配置し、地域とのボランティア活動支援を行なった。			4,437 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	地区の活動拠点として、ボランティア活動の普及啓発を図る。
有効性	4	ボランティア活動の普及とボランティアの育成を図る。
効率性	4	地域住民のボランティア活動に関する理解を深める。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	地域への情報提供や助言を行い、ボランティア活動の普及に努める。

事業	補助金の名称	社会福祉協議会 福祉バス運行事業補助金				担当部署	部名	福祉保健部
035							課名	社会福祉課
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち	予算科目	会計	一般会計	電話	82 - 1951	
	政策名(章)	第 2 章 やさしさに包まれたまちづくり				款	民生費	
	施策名(節)	第 1 節 地域で支え合う福祉の推進				項目	社会福祉費 社会福祉総務費	
補助期間	平成 年度 ~ 平成 年度						年度	
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象(交付先)	射水市社会福祉協議会					
	意図(補助目的)	各種社会福祉大会への参加と促進					
事業内容	手段(主な活動)	福祉団体利用者のバス運行。					
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他()			

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	バス利用回数	回	221	240	182	75.8

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	4,059 千円	(金額)	4,741 千円	(金額)	4,521 千円	
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	福祉バスの運行				4,521 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	民間業者への切り替え
有効性	3	必ずしも、効力を期待できない。
効率性	3	人件費の抑制。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	人件費を見直す。また、利用者からの利用料金制度をする検討も考えられる。

事業 036	補助金 の名称	社会福祉協議会 大島社会福祉センター管理運営事業補助金				担当 部署	部名	福祉保健部	
							課名	社会福祉課	
						電話	82 - 1951		
総合 計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第2章 やさしさに包まれたまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第1節 地域で支え合う福祉の推進						目	社会福祉総務費
補助期間		平成 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等									

事業 目的	対象 (交付先)	射水市社会福祉協議会			
	意図 (補助目的)	大島社会福祉センターの維持管理費			
事業 内容	手段 (主な活動)	大島社会福祉センター会館管理委託及び経常経費			
類 型 区 分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助
		格差是正補助	利子補給	その他()	

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	福祉センター利用者数	人	14236	24350	24350	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	14,442 千円	(金額)	12,979 千円	(金額)	10,150 千円	
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	大島福祉センターの管理運営費				10,150 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	3	入浴施設の廃止による、1階施設の利用促進
有効性	4	福祉施設としての役割を果たす。
効率性	3	業務委託費の経費削減を要する。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	業務委託料の詳細内容の確認と経費削減

事業 037	事務事業名	地域福祉計画策定費				担当部署	部名	福祉保健部	
		-----					課名	社会福祉課	
						電話	82-1951		
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 2 章 やさしさに包まれたまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 1 節 地域で支え合う福祉の推進						目	社会福祉総務費
事業開始・終了年度		平成 21 年度		~	平成 22 年度				
根拠法令・要綱等		射水市地域福祉計画策定委員会設置要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	4	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	地域の要支援者の生活課題とそれに対応する必要なサービスの内容や量
	意図 (どのような状態に)	必要なサービスの内容や量の現状を明らかにし、かつ、確保し提供する体制を整備するための計画を策定する
事業内容	手段 (どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画策定委員会の運営 ・地域福祉計画書の作成

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 22 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	職員の認知度(担当分野の調査票担当課回答記入割合)	%	0	100	66	66.0	100	100	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	地域福祉計画策定委員会開催回数	回	0	1	1	100.0	3

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	0 千円	639 千円	皆増	758 千円
財源内訳	人件費	759 千円	1,020 千円	34.4	4,216 千円	
	退職手当引当金相当額	110 千円	150 千円	36.4	620 千円	
	事業コスト計	869 千円	1,809 千円	108.2	5,594 千円	
	国県支出金	0 千円	0 千円		0 千円	
	その他	0 千円	0 千円		0 千円	
	一般財源	869 千円	1,809 千円	108.2	5,594 千円	
当該事務従事職員数		0.11 人	0.15 人	36.4	0.62 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	地域福祉計画は義務規定ではないが、社会福祉法に位置づけられている計画である。また、要援護者を対象に必要なサービスの内容や量を確保し提供する体制を整備するために必要な計画である。
有効性	3	成果指標の達成率から、事業の成果は必ずしも十分とはいえない。
達成度	3	一部の活動指標において目標値を達成できなかったが、次年度の目標に向けて順調に推移している。
効率性	4	会議の回数、事務の進め方など概ね効率的に作業を行っていると考えられる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	地域福祉計画策定事業は必要性・効率性については評価できるが、成果指標・活動指標の目標値の達成が一部不十分なため次年度は達成できるよう計画の周知を徹底する。